

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 本校のESDでめざすもの

(1) ESDのねらい（※本校ESDでねらうもの）

ESDの基本的な考え方の一つに、「他者との関係性、社会との関係性、自然との関係性を認識し、『関わり』『つながり』を尊重できる個人を育むこと」があるが、本校のESDで取り組んでいる防災学習は、自然の領域である「災害」について学ぶとともに、自分の将来や地域・社会との「つながり」を通して、

- 災害に備え、発生時・後に対応できる力を養うこと
- 災害時に少しでも被害を少なくする「減災」の意識を高めること
- 学校を起点とした災害に強い地域づくりに貢献すること

をねらいとしている。

(2) ESDで育てたい資質・能力（※本校ESDを通じて、目指す児童生徒の姿）

- ・災害に対して自らの身を守り、乗り切る力をもつ生徒
- ・災害に対する正しい知識を備え、主体的に行動する力をもつ生徒
- ・地域の復興に貢献しようとする意欲をもつ生徒
- ・安心・安全な社会づくりに貢献しようとする意欲をもつ生徒

(3) 本校ESDの特徴

気仙沼市北東部に位置し、山と海に囲まれた自然豊かな環境にあったが、東日本大震災により学区の大半が壊滅的な被害を受けた。総合的な学習の時間では、生徒が地域を見つめ、自分の生き方を考えながら、地域でよりよく生きようとする力を育むことを継続してきた。特に、防災学習では、全校縦割りのグループまたは、全校一斉に、ガイダンスや避難所設営訓練などの学習を行っている。他学年の生徒とのふれあいや自分の意見を伝え合う活動などを通して、学び方やものの考え方を身につけるとともに、防災意識の向上と自他の安全を確保する行動を主体的にとろうとする態度を育んでいる。

2 本年度のESD実践概要

総合的な学習の時間を中心に防災学習に取り組んだ。

(1) 防災学習の日の設定

毎月11日前後に設定している。朝学習の時間や学級活動の時間を活用し、防災学習に取り組んだ。（防災学習副読本や防災学習シートの活用）

(2) 各種避難訓練

6月に地震想定避難訓練、
11月に火災想定避難訓練を実施した。また、不定期にシ
ョート避難訓練も実施した。



(3) 引渡訓練（6月実施）

鹿折小学校と合同で、災害時や緊急時に、生徒を安全・確実に保護者に引き渡すための訓練を行う。

(4) 避難所設営訓練

避難所開設の初期対応を中学生だけで行う訓練。避難所開設のために必要な事柄や役割を、ロールプレイを通して理解させる。仮設住宅の方も参加した。



(5) 学年ごとの防災学習

今年度は、1年生で「防災講話」、2・3年生で「救命・救急講習」を行った。

(6) 防災マップ（通学路安全マップ）づくり

各自の通学路を中心とした防災マップづくりをとおして、災害時の避難場所や地区の危険箇所などを把握させた。

(7) 各種安全教室

交通安全教室や携帯安全教室，非行防止教室など，各種安全教室を開催することで，防災に限らず，日常生活の中で安全・安心な生活を送ろうとする意欲を高めさせた。

(8) 地域研修

鹿折地区の復興の歩みを，災害公営住宅建設現場の見学を通して実感させるとともに，将来，自らが地域の復興に貢献しようという意欲を育てる目的で実施した。



3 課題から見えてきた今後の方向性

- ・防災学習やふるさと学習の場面で，地域の人材や学習素材，及び関係諸機関をより活用できるような計画を立案していくことが必要である。そうすることで，生徒が地域に愛着を持てるような方向性でカリキュラムを組み立て，地域に貢献できる人材を育成できるようにしたい。また，鹿折小学校との連携を強め，義務教育9年間を見通した防災教育計画を考えていきたい。
- ・鹿折中学校防災教育協力会議（仮称）を立ち上げ，学校の防災教育に地域の協力を得られるような体制づくりを進めることで，鹿折地区の防災力向上の一助となるようにしていきたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）